

## 「ぐろ〜かる CM 大賞 2022」

2022年の優れたローカルCM・地方PR動画を「ぐろ〜かるCM研究所」が発表

ぐろ〜かるCM研究所

テレビCMの戦略立案、コンサルティングを行う株式会社テムズ(東京都文京区、代表取締役：鷹野 義昭)が運営する「ぐろ〜かるCM研究所」(<https://glocalcm.net/>)は、2022年のマーケティング戦略において優れたローカルCM・地方PR動画を発表しました。

今年で8回目を迎える「ぐろ〜かるCM大賞」は、秀逸なローカルCM・地方PR動画を網羅的に取り扱ったインターネットサイト「ぐろ〜かるCM研究所」が主催。同研究所の専門家集団による審査のもと、2021年12月〜2022年11月の期間に同サイトへノミネートされたCMおよびPR動画107素材のなかから、各賞を以下のように決定しました。

なお、例年は大賞のほか複数の特別賞を発表していましたが、今年は大賞1素材、特別賞1素材の選出となります。これは、新型コロナウイルスの影響により候補となるCM・PR動画が減少したことによるものです。

### ■ぐろ〜かるCM大賞2022



両備グループ バスユニット（岡山県）／

宇宙一面白い公共交通を目指すプロジェクト「プロジェクト進行中！」篇

<https://www.youtube.com/watch?v=TWYAg7p1WYk>

### 瀬戸内の公共交通、瀬戸際の正念バス！？

バス車内に設置された奇妙な研究所。研究に勤しむ博士のもとへ、助手のロボット力士が駆け込んできた、「博士、大変です。社長から公共交通を救えとの指令が出ました！」。この超重要課題に対して博士が提案したのは「宇宙一面白い公共交通」の開発！？

乗客減少の窮地を打破すべく、両備グループが始動した「宇宙一面白い公共交通を目指すプロジェクト」。ピンチのはずなのにCMは超ポップ。プロジェクト自体のキャッチーさに加え、アナログ感満載で自虐を交えたクリエイティブが強いインパクトを与えます。

#### <授賞理由>

本素材は、公共交通の危機的状況をユーモラスに伝達するとともに、ユニークで新規性の高いプロジェクトをインパクトをもって訴求することに成功しています。アナログ感あるクリエイティブおよび自虐を交えた言葉遊びは、視聴者の興味を喚起するうえで非常に効果的と評価いたします。15秒という短い尺のなかで、強い印象を与えながら、訴求ポイントを的確に伝達する構成も見事です。

また、当該素材が訴求するプロジェクトのタイトルも、期待感を醸成する優れたネーミングといえます。そのうえで、運行中のバス車内でのプラネタリウムやアート作品販売、SNSを活用した乗客参加型企画など、期待へ十分に応える施策を展開。他に類をみないアイデアの具現化により、大きな話題性を獲得しています。

ピンチに際して攻めの姿勢で斬新なプロジェクトを展開し、当該CMをはじめとした広報施策によって、乗客回復に挑む一連の取り組みを高く評価いたします。

#### ■特別賞 ぐる〜かるCM・地域マーケティング賞





## 八十二銀行（長野県）／「勇者たちと王家の秘宝」シリーズ

第一章「勇者たち遺言信託」篇 <https://www.youtube.com/watch?v=Siz-8mnK-wA>

全シリーズはこちら [https://www.82bank.co.jp/kojin/sonaeru/yushatachi\\_cm/index.html](https://www.82bank.co.jp/kojin/sonaeru/yushatachi_cm/index.html)

### 王様の遺言書がないとクエストが始まらない！？

「勇者よ！実はワシがお前の父じゃ」。王様から勇者一行に告げられた衝撃の真実。興奮冷めやらぬままに王様は、遺産をすべて勇者に授けると言い出したが…！？長野県を拠点とする八十二銀行によるコミカルな4篇構成のシリーズ。ゲームの世界観をモチーフに、提供サービスを面白くわかりやすく訴求しています。銀行への親しみが増すクリエイティブです。

#### <授賞理由>

ゲームの世界観をモチーフにした本素材は、ローカルCMらしい「ゆるさ」とコミカルな展開によって、銀行に対する親近感を醸成しています。遺言・遺産整理・財産管理等、高齢化社会の課題に対応したサービスをコミカルに訴求するクリエイティブは、大手地方銀行としての高い信頼度があってこそ成立するものといえます。また、1素材1メッセージに絞ることで、訴求内容をわかりやすく伝達している点も秀逸です。長野県のトップバンクとして培ってきた地域密着のブランドイメージを、さらに強化する素材として高く評価いたします。

#### ■選定にあたってのメッセージ 研究所所長 鷹野義昭

いまだコロナ禍明けとはいええないなか、自粛、牽制ムードがローカルCM・地方PR動画の世界でも漂い続けている。特に地方自治体が発信するPR動画では、以前のような「勢い」や「攻め」の姿勢をもったコミカルな素材を目にすることが少なくなった。これは、コロナ対策が優先する行政の立場としては当然の結果ともいえる。

そうした背景もあり、本年はCM大賞1素材、特別賞1素材の選出となり、残念ながら地方PR動画については該当なしという結果となった。

ぐろ~かるCM研究所で紹介するローカルCMの特徴は、なんといっても「地域密着」にある。今回授賞したローカルCM2素材では、公共交通、地方銀行という比較的“お堅い”イメージの業種が、大きく“くだけた”表現で「親近感」や「インパクト」を醸成している。さらに、マーケティング戦略に則った的確なクリエイティブで、効果的かつ効率的に展開。地域に根ざしたコミュニケーションづくりを、見事にCMへ落とし込んでいる。こうした

「ローカルらしい」アイデアやクリエイティブの工夫、そして何よりマーケティング目標の達成に寄与しているかどうか、今回の選考では大きなポイントとなった。

ローカルCMの魅力は、限られた予算のなかで生み出されるアイデア、大胆な冒険、制作側の気持ちが伝わる身近さ、隙きのある楽しさ、等にある。ぐろ〜かるCM研究所では、今後も「ローカルならではの」魅力をもった素材を全国、世界へと発信する一助となっていきたい。

そして来年こそは、コロナという言葉を蹴散らし、これまで以上に明るい社会のなかで、「ぐろ〜かるCM」の名に相応しい素材と、数多く出会えることを心から祈っている。

## ■ 「ぐろ〜かる CM 大賞」の歴代受賞素材

<2021 年度>

CM大賞：別府競輪（大分県）／「恋するけいりん」シリーズ

「耳に鉛筆」篇 <https://www.youtube.com/watch?v=hMghRLEwD-A>

「100円で遊べる」篇 <https://www.youtube.com/watch?v=s2hcy0fxVhA>

「きれいな場内」篇 <https://www.youtube.com/watch?v=7TjDqvJMMw0>

「鉄輪温泉」篇 <https://www.youtube.com/watch?v=Tbc-0Nuekbc>

「パーフェクトカップル競輪」篇 <https://www.youtube.com/watch?v=xJiwoQnSRiM>

<2020 年度>

CM 大賞：株式会社 田子重（静岡県）／「今川さん、田子重ではたらく」シリーズ

<https://www.youtube.com/watch?v=H6r835XP-9M>

PR 動画大賞：高知市(高知県)／「#田舎暮らしは甘くない」篇

<https://www.youtube.com/watch?v=EZTwT9yKifY>

<2019 年度>

CM 大賞：岸田劉生展実行委員会（山口県）／山口県立美術館「岸田劉生展」CM シリーズ

<https://www.youtube.com/watch?v=AfQMMr32khU>

PR 動画大賞：鳴門市（徳島県）／「Beyond Naruto」シリーズ

※現在は非公開

<2018 年度>

CM大賞：臼杵市（大分県）／「う♡(すき)プロジェクト」シリーズ

<https://www.youtube.com/embed/qULMb60IDU4>

PR 動画大賞：鹿児島市（鹿児島県）／「維新 dancin'鹿児島市 スペシャルムービー」篇

<https://www.youtube.com/watch?v=pVIPPLPUps>

<2017 年度>

CM大賞：スペースワールド（福岡県）／「所信表明」篇

<https://www.youtube.com/watch?v=RVNiarDMTho>

PR 動画大賞：呉市（広島県）／「呉一市一 G O N N A 呉一市一」篇

<https://www.youtube.com/watch?v=iEC04gROLMg>

<2016 年度>

CM大賞：たかだ引越センター（愛媛県）／「グラビア」篇

<https://www.youtube.com/watch?v=GXvSn0YxjR8>

PR動画大賞：津市（三重県）／「つがあるって、素晴らしい」篇

※現在は非公開

<2015 年度>

CM大賞：五ヶ瀬ハイランドスキー場（宮崎県）／2015CMシリーズ

<https://www.youtube.com/watch?v=hWFfPpAr1QI>

PR動画大賞：おんせん県おおいた（大分県）／「シンフロ」篇

<https://www.youtube.com/watch?v=vP4uBDKipQs>

特別賞を含む歴代の全受賞素材は下記 URL からご覧いただけます（画像あり）。

<https://bit.ly/3U1AZTZ>

## ■ぐる〜かる CM 研究所

日本全国の各道府県で放送されている秀逸なローカル CM・PR 動画を選定し、同サイトから YouTube 動画へリンクする形で数多く紹介している。「笑える」「お色気」「インパクト」「おもしろキャラ」など、さまざまな観点から網羅的に閲覧が可能となっている。

「研究所所長」で CM 戦略コンサルタントの鷹野 義昭をはじめ、産業能率大学経営学部教授の小々馬 敦氏、CM クリエイティブ・ディレクターの福谷 匡史氏、さらには脳科学者である NTT データ経営研究所 茨木 拓也氏を研究員に加えて、ローカル CM・地方 PR 動画を「総合」「地域密着度」「インパクト度」「クオリティ度」の4つの軸に対し5段階で評価し、専門家によるコメントがつけられている。

### 【専門家・コメンテーター・審査員 詳細】

<https://glocalcm.net/commentator>

### 【サイトへのエントリー条件】

地方発で、ユニーク性・オリジナリティが高く、世界へ発信する価値を有したCMもしくはPR動画（15分未満の素材）。CMの場合は、東京キー局・大阪キー局でのオンエアがゼロもしくは100GRP未満であること。

## ■サイト概要

名称 : ぐる〜かる CM 研究所

URL : <https://glocalcm.net/>

オープン日： 2015 年 9 月 6 日

運営： 株式会社テムズ(東京都文京区)

■所長：鷹野 義昭プロフィール

株式会社テムズ 代表取締役／日本広告学会正会員／日本広報協会 広報アドバイザー

大手広告代理店のマーケティングプランナーを経て、現職。1,000 素材を超えるテレビ CM の戦略立案・分析・調査に約 30 年携わる。著書に「CM 好感度 No1.だけどもノが売れない 謎 ～明日からテレビ CM がもっと面白くなるマーケティング入門～」(ビジネス社)、「モノ売る地方 CM コト得る PR 動画 ～日本中の心をつかむマーケティング戦略～」(幻冬舎)。「ファインドスター広告ニュース」「ビジネスジャーナル」コラム、月刊「広報」「宣伝会議」等執筆多数。専門家コメンテーターとして、フジテレビ「めざましテレビ」、日本テレビ「スッキリ」、テレビ朝日「羽鳥慎一モーニングショー」「中居正広のミになる図書館」などに出演。大学・企業等においてセミナー・講義の実績多数。

【本件の取材・掲載に関する報道関係の皆様からのお問い合わせ先】

株式会社テムズ (担当：清水・安藤)

住所：〒113-0033 東京都文京区本郷 1-25-5-4F

電話番号：03(3818)0254 FAX 番号：03(3818)0640 MAIL：info@tems.ne.jp